



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2019年10月4日 No.134

「ワンマン運転」の拡大で「安全」と「サービス」は保てるのか!?

31項目にわたる「ワンマン運転の拡大について」に関する申し入れを提出

東日本ユニオンは、7月24日に経営側より「ワンマン運転の拡大について」の提案を受けました。今後「線区・区間を限定せずに中長編成においてもワンマン運転を実施していく」としています。現在の「ワンマン運転」実施区間において、エリアが限定されたSuica利用、車両の違いによる機器扱い誤り、異常時対応に関する問題等が発生しています。また「ワンマン運転の拡大」は、各系統の効率化施策とも無関係ではないことから、10月4日、経営側に申し入れを行いました。

ワンマン

【主な申し入れ項目】

- ◎ 昭和63年当時における「ワンマン運転」導入の経緯および令和2年3月から「ワンマン運転」を拡大する目的を明らかにすること。
- ◎ この間実施してきた「ワンマン運転」において、安全の確保に関する成果と課題を明らかにすること。
- ◎ この間実施してきた「ワンマン運転」において、収入の確保に関する成果と課題を明らかにすること。
- ◎ この間実施してきた「ワンマン運転」において、サービスに関する成果と課題を明らかにすること。
- ◎ 後方防護要員として位置付ける車掌の意義と必要性について考え方を明らかにすること。
- ◎ 触車事故防止の観点から駅進出時における車掌の状態監視の意義と必要性について考え方を明らかにすること。
- ◎ 「ワンマン運転」において、鉄道事故及び自然災害発生等により運転士が万が一重体・重傷となった場合の「併発事故防止」及び「旅客対応」について考えを明らかにすること。
- ◎ 「ワンマン運転」における車内秩序の維持に対する考え方と対応について明らかにすること。
- ◎ 「ワンマン運転」を担当する運転士に対し、営業取扱いに関する指導・教育の考え方を明らかにすること。
- ◎ 簡易Suica改札機の設置状況と今後の整備計画の考え方について明らかにすること。
- ◎ 各線区で短、中、長編成のそれぞれで「ワンマン運転」を実施する判断基準を具体的に明らかにすること。
- ◎ 短編成でのワンマン運転の拡大を検討している線区、車両を明らかにすること。
- ◎ 中編成でのワンマン運転の拡大を検討している線区、車両を明らかにすること。
- ◎ 長編成でのワンマン運転の拡大を検討している線区、車両を明らかにすること。
- ◎ 「将来的な車掌業務の変化」として「ワンマン運転の拡大により車掌の業務量が減少していく」としているが、10年後の車掌の要員数を明らかにすること。
- ◎ 「運転士と車掌の混み運用を検討していく」としているが、実施時期および具体的運用方法について明らかにすること。
- ◎ 同一線区において「短編成、中編成、長編成」のワンマン列車が運用される場合があるのか明らかにすること。また、その場合に取扱いの違いがあるのか明らかにすること。
- ◎ 「ワンマン運転の拡大」において、指令の体制強化に対する考え方を明らかにすること。